

令和 6 年度第 2 回南砺市食育会議 会議録

1. 開催日時：令和 6 年 9 月 30 日（月）午後 2 時 0 0 分
2. 開催場所：南砺市役所 本館 302 会議室
3. 出席者：委員 14 名
松井委員、雄川委員、長瀬委員（代理）、川嶋委員、下保委員、
井並委員、上野委員、定司委員、三橋委員、木戸口委員、中野委員
岩佐委員、山岸委員、勇崎委員
事務局（農政課）
中島課長、久保係長、小林副主幹

次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 協議事項
 - （1）第 3 期 南砺市食育計画の素案について
 - ①概要説明
 - ②第 1 章及び第 2 章について
 - ③第 3 章及び第 4 章について
 - ④第 5 章について
 - （2）第 3 期 南砺市食育推進計画策定までの主なスケジュールについて
 - （3）その他の事項について
4. 閉会

1. 開会 午後 2 時
2. あいさつ（ブランド戦略部長）
3. 協議事項

[事務局]

それでは、引き続き協議事項に入ります。

なお、ここからは本会の会長であります南砺市ブランド戦略部 部長 岩佐 崇が進行致します。宜しくお願いします。

[会長]

会長の岩佐です。よろしくお願いします。

それでは、協議事項（１）第３期 南砺市食育計画の素案について、事務局より説明して下さい。

[事務局]

①概要説明

②第１章及び第２章について

[会長]

今ほど説明のありました、第１章、第２章について、何かご意見はございませんか。

意見が無いようなので、次に第３章、第４章について説明願います。

[事務局]

第３章及び第４章について

[会長]

今ほど説明のありました、第３章、第４章について何かご意見はございませんか。

意見が無いようなので、次に第５章について説明願います。

[事務局]

第５章については、推進方法を記載しております。

これまでと同様に、各課と連携しネットワーク等活用し計画に基づいた食育を推進していきます。

[会長]

今ほど説明のありました、第５章について、何かご意見はございませんか。

意見が無いようなので、次に協議事項（２）今後のスケジュールについて事

務局より説明願います。

[事務局]

スケジュールについて

[会長]

(3) その他の事項について何か質問ありますか。

せっかく、皆さんに出席をいただきましたので、何か計画に関して何でも構いませんので、ご意見を頂戴したいと思っております。

いかがでしょうか。

[委員A]

1 回目の会議は欠席しており詳細まで、掴みきれてないですが、私ども農協として、食育は幅広な項目あると聞いており我々農協側、それから生産者サイドという観点から申し上げますと、特に市内の学校給食関係の食材を、限りなく市内産の物、或いはもっと幅広で富山県産の物を提供という観点で、一生懸命に掘り起こしをしているところです。過去には県の方で、重量ベースの供給率であったような気がするが、今の数字の捉え方で例えば 35% 目標は、重量ベースという考えでよいかの確認と、色々沢山目標数値があり、確認というか数字の捉え方が難しいと認識しており、私達も極端に言うが、あんまり細かくなく、もう少し豊かな心でという様なイメージの食育の方針が、やっぱり皆さんに浸透しやすいなというふうに思っております。数字は数字で当然、目標値として捉えていただければいいと思います。

身近なものを、安心して食べてもらう事や総合的な所を、私達も一緒になっていけたらと思っておりますので、今後も市や関係機関と連携して、数字ありきではなく、その物の価値も生み出していただける様な方向になれば有り難いと思っております。以上です。

[事務局]

供給率は重量ベースです。

県の方に報告している数字になりまして、市内産の農産物・県産の農産物ということで、月ごとに各学校の栄養教員の皆さんから報告いただいたものを、年度末に取りまとめて、県の方に報告している数字になりまして、重量ベースで

報告をいただいております。

[会長]

よろしいでしょうか

[委員A]

はい

[委員B]

食生活改善推進協議会では、子供から大人まで食育の推進は伝達講習で行っております。

子供から大人まで食育推進を沢山している中で、朝食の話については毎回しているが、朝食を食べないという話をよく聞き、また協力していけたらと思います。

[会長]

ありがとうございました。

[委員C]

代理出席で所長から意見を預かってきており、計画の中身は、細かく見てい

なのですが、
今、能登の震災や水害があり、地域で持続可能な食を守るという観点において、災害時への食の備えという部分について、少し南砺市としての考えが入ってもいいんじゃないかな。

と言う意見を預かってきております。

[会長]

ありがとうございます。

その辺どうでしょう。

[事務局]

県の計画の方にも、災害に備えた食育の推進ということで、富山県の第四期計画の方にもあがっておりますし市としても、そういうところも盛り込んでいきたいなというふうには思っておりますので、関係の方にも確認しながら、盛り込む章の確認位置等を考え、受けたいと思います。

ただ目標値というところではなく、取り組み事業や、内容というところで記載を盛り込んでいけたらと思っております。

[会長]

3期の計画に盛り込んでいくという事ですね。

[事務局]

はい。

[委員D]

振興センターも農協さんと同じで関わってるとすれば、振興で言えば環境保全型農業の推進というところです。

その他に、南砺市産の食材、農業産出額です。ここを少しでも、増やしていくということで特に県が、力を入れているのは園芸品目の振興で、今年は米が非常に高く、今後は米だけではなく園芸品目というのが非常に重要になってくると思います。南砺市は、いろんな園芸品目があると思いますが、そちらの産出額を増やしていくことを今、頑張っておりますので、こちらの方を対応していきたいなと思っております。

食育・食べ方や方法ですが、個人的に非常に大切なことだと改めて感じており計画を推進していきたいと思っております。

[会長]

ありがとうございました。

[委員E]

学校の食育については、給食の時間が中心となるので、また給食を教材に、各学校の栄養教諭等が、日々の食育に力を入れていきたいと思っております。

[会長]

ありがとうございます。

[委員F]

私も前回欠席しております。

私も自分の範囲内のことしか言えないのですが今、コロナ禍があげまして、食育っていうのは国語・算数・理科・社会・食育ってつける。それから保育園、幼稚園でも食育推進をしていく為の大事な時期だと思っています。

それで今コロナ禍が開けたので、私達も一生懸命、子供園で取り組んでいます。クッキングをどんどんしたり、食材だけじゃなくて、調理道具の使い方から、やっぱり食べる事や姿勢、そんなことを積極的に取り組んでいます。

今年は子供たちと梅干を作ったり、これから味噌も作ります。食育って今これ見ると、とっても幅が広く生産から消費、色んな事に関わっているのですが、やっぱり一番大事な子供達にとって、大切だと思っています。今、梅干しや漬物が作れない大人達も沢山居ます。

今がチャンスだと思って、私達は園をあげて取り組んでいます。

それと、こういう面白い本が出ています。白砂糖の話、離乳食の話、奇跡の食育、食べるもので、学校全部が変わりました。荒れていた学校が整いました。

こういう簡単な漫画から、お母さん達に向けて情報を発信しています。

クラスの帳面と一緒に挟んで、各家庭必ず目を通すようにしたり、色んな事に取り組んでいます。やっぱり、これだけしないと食が荒れています。

家庭の食事、風景、食育、食材、食事の仕方、内容、全部荒れています。

朝からコンビニ行って、お母さんがご飯を作らないからお父さんが、おにぎりを買って来るとか、朝から喜んでシャケおにぎり買って食べて来たとか、コンビニ行って肉まん食べて来たとか聞くと、チョット待ってよ！！今日は運動会があり、それでは体が持たんぞと思っていると案の定、低血糖や色んな事で救急車のお世話になったりする事もありました。

なので、大事な子供達そして妊婦さん、女の方、女の子。

徹底して園を上げ、取り組んで行きたいと思います。

また、参考までに先程、紹介した本を後程ご覧ください。

ということで、子供に限った入った話ですが、そんな感じです。

[会長]

ありがとうございます。

他に、職員の委員で何か意見はありませんか？

無いようなので事務局、お願い致します。

[事務局]

本日、お示ししました素案を基に、委員各位からいただいた意見や、中身で、次の食育会議において、計画書の完成に近づけていきたいと考えております。

また、先程ご説明しましたスケジュールにございましたが、第3回食育会議を11月21日木曜日に開催予定としておりますのでよろしくお願い致します。

計画策定に向け、今後も皆様のご協力をお願いいたします。

本日協議を予定していました事項につきましては、全て審議をして頂きました。ありがとうございました。

それでは、以上を持ちまして本日の「令和6年度の第2回南砺市食育会議」を終了させていただきます。お疲れ様でした。